

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-290820

(P2005-290820A)

(43) 公開日 平成17年10月20日(2005. 10. 20)

(51) Int.Cl.⁷

E04H 13/00

F I

E O 4 H 13/00

B

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2004-106801 (P2004-106801)
 (22) 出願日 平成16年3月31日 (2004. 3. 31)

(71) 出願人 300089242
 酒井 正美
 群馬県藤岡市藤岡1549-30
 (74) 代理人 100093827
 弁理士 岡野 正義
 (72) 発明者 酒井 正美
 群馬県藤岡市保美1449-9

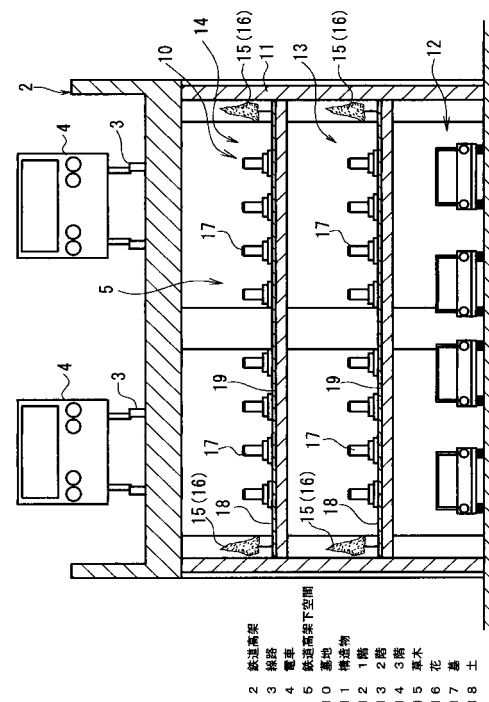
(54) 【発明の名称】 墓地

(57) 【要約】

【課題】 交通の便が良く、わだかまりのない自然な気持ちで墓参りできる墓地を提供すること。

【解決手段】 墓地10を駅近くの鉄道高架下空間5に設ける。これにより、交通の便が良い。また、鉄道高架下空間5は、周囲が開放されているので、墓参りする人に閉鎖した空間に閉じ込められているという感覚を抱かせない。そのため、わだかまりのない自然な気持ちで墓参りできる。都市部における墓地不足解消にも役立つ。また、鉄道高架下空間5に複数階の構造物11を構築し、当該構造物11の所定階に墓を設置する。また、構造物11の1階を駐車場とする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駅近くの鉄道高架下空間に設けられたことを特徴とする墓地。

【請求項 2】

前記鉄道高架下空間に複数階の構造物を構築し、当該構造物の所定階に墓を設置してなる請求項 1 記載の墓地。

【請求項 3】

前記構造物の 1 階が駐車場とされた請求項 2 記載の墓地。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本発明は、墓地に関する。

【背景技術】

【0002】

墓地は、人里離れた場所に設けられていることが多い。これは、住居近くの土地をなるべく有効利用したいということに由来すると思われる。現今では、都市整備の一環として墓地が郊外に移転されることも多くなっている。

【0003】

ここで、墓地が住居から遠く離れた所にあると、気軽に墓参りするというわけにもいかず、自然に足が遠のいてしまうことになる。

20

【0004】

そこで、最近、インターネット上に仮想の霊園を登録し、その仮想霊園を利用して墓参りを仮想体験する墓地が提案されている（例えば、特許文献 1 参照）。

【0005】

また、地下空間に墓石を載置するための構造物を設けることにより、交通の便がよく地上空間の効率的運用が推進されている都市部でも設置可能な墓地も提案されている（例えば、特許文献 2 参照）。

【特許文献 1】特開 2002-197210 号公報

【特許文献 2】特開平 5-340138 号公報

【発明の開示】

30

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかし、上記したインターネット上で墓参りする墓地では、気軽にアクセスできるものの実感がわきにくく何か物足りない気持ちが残ると思われる。特に、インターネットに慣れ親しんでいないことが多い年配者にとっては拒否反応が強いと思われる。

【0007】

また、上記した地下墓地では、閉鎖した空間に閉じ込められた状態で墓参りするという感覚が拭えず違和感が生じやすい。

【0008】

本発明の目的は、交通の便が良く、わだかまりのない自然な気持ちで墓参りできる墓地を提供することにある。

40

【課題を解決するための手段】

【0009】

請求項 1 の発明は、駅近くの鉄道高架下空間に設けられたことを特徴とする墓地である。

【0010】

上記請求項 1 の発明の場合、駅に近いので交通の便が良い。そのため、車の運転ができなくなった高齢者でも、無理なく墓参りできる。また、鉄道高架下空間は、周囲が開放されているので、墓参りする人に閉鎖した空間に閉じ込められているという感覚を抱かせない。また、鉄道高架によって雨降りの日でも墓参りする人は雨に濡れることがない。そのた

50

め、自然な気持ちで墓参りできる。また、鉄道高架下空間の有効利用が図られることになり、特に地上空間の効率的な運用が求められる都市部には最適である。また、都市部における墓地不足の解消にも役立つ。

【0011】

請求項2の発明は、前記鉄道高架下空間に複数階の構造物を構築し、当該構造物の所定階に墓を設置してなる墓地である。

【0012】

上記請求項2の発明の場合、請求項1の発明の場合と同様な作用・効果を奏し得る他、一段と鉄道高架下空間の有効利用が図られる。

【0013】

10

請求項3の発明は、前記構造物の1階が駐車場とされた墓地である。

【0014】

上記請求項3の発明の場合、請求項2の発明の場合と同様な作用・効果を奏し得る他、自動車を利用して墓参りする人にとっても便利である。

【発明の効果】

【0015】

本発明によれば、交通の便が良く、わだかまりのない自然な気持ちで墓参りできる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照しながら説明する。

20

【0017】

本発明に係る墓地10は、図1に示すように、駅近くの鉄道高架下空間5に設けられている。ここで「駅近く」とは、墓参りする一般の人が駅から墓地まで無理なく徒歩で到達可能な距離である。

【0018】

この実施形態では、鉄道高架下空間5に複数階建ての構造物11を構築し、当該構造物11の所定階に墓17が設置されている。なお、図1中、2は鉄道高架、3は線路、4は鉄道高架2の線路3上を走行する電車である。

【0019】

上記した駅としては、電車が止まる回数の多い駅が適している。構造物11は、例えば鉄筋コンクリート造りとされている。この実施形態では、構造物11は、複数階（ここでは3階）建てとされている。1階建てでもよいことはもとよりである。なお、図1では、各階を連絡する階段（あるいはエレベータ）は図示を省略している。

30

【0020】

構造物11の1階12は、自動車を利用して墓参りする人もいることを考慮して、駐車場とされている。なお、この駐車場の一部に、自転車やバイク用の駐輪スペースを確保してもよい。

【0021】

構造物11の2階13および3階14は、墓17を設置するための場所とされている。これらの階（13、14）の各床面19には、土18が敷かれており、その上に墓17が設けられている。墓17は、石製や木製などとされており、狭いスペースに数多く設置できるように小型（例えば、高さ60cm）とされている。材質や形状は任意に選ぶことができる。また、構造物11の2階13および3階14の各端の部分には草木15や花16が植えられている。また、場合によっては、墓地11にふさわしい音楽を流してもよい。このように、植栽したり、音楽を流すことによって、墓参りをする人の気持ちを一段と和ませることができる。

40

【0022】

上記した本発明に係る墓地10においては、駅近くの鉄道高架下空間5に設けられているので交通の便が良い。そのため、車の運転ができなくなった高齢者でも、無理なく墓参りできる。また、鉄道高架下空間5は、周囲が開放されているので、墓参りする人に閉鎖

50

した空間に閉じ込められているという感覚を抱かせない。また、鉄道高架 2（または上の階の床面 1 9）によって、雨降りの日でも墓参りする人は傘を差さなくても雨に濡れることがない。そのため、わだかまりなく自然な気持ちで墓参りできる。

【0023】

また、鉄道高架下空間 5 の有効利用が図られることになり、特に地上空間の効率的な運用が求められる都市部には最適である。また、都市部における墓地不足の解消にも役立つ。

【0024】

さらに、鉄道高架下空間 5 に複数階の構造物 1 1 を構築し、当該構造物 1 1 の所定階に墓 1 7 を設置してなる墓地 1 0 であるので、一段と鉄道高架下空間 5 の有効利用が図られる。 10

【0025】

さらにまた、構造物 1 1 の 1 階 1 2 が駐車場とされているので、自動車を利用して墓参りする人にとっても便利である。

【0026】

なお、上記実施形態では、構造物 1 1 の 1 階 1 2 を駐車場としたが、他の階（1 3，1 4）と同じく墓 1 7 を設置する場所としてもよい。また、構造物 1 1 を 3 階建てとしたが、これに限定されるものではなく、例えば 2 階建てや 4 階建てとしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【0027】

20

【図 1】本発明に係る墓地を説明するための図である。

【符号の説明】

【0028】

- 2 鉄道高架
- 3 線路
- 4 電車
- 5 鉄道高架下空間
- 1 0 墓地
- 1 1 構造物
- 1 2 1 階
- 1 3 2 階
- 1 4 3 階
- 1 5 草木
- 1 6 花
- 1 7 墓
- 1 8 土
- 1 9 床面

30

【図 1】

